令和5年度第2学年前期「教育学入門」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
4	2	50%

実施日: 最終授業日から3日間

Ⅰ. 授業内容について

		5	4	3	2	1	平均
1	シラバスに沿って、授業が進められた。	1 (50%)	1 (50%)	Ο	0	0	4.5
	授業内容は理解できるものであった。	2 (100%)	0	0	0	0	5.0
3	授業内容は興味や関心が持てるものであった。	2 (100%)	0	0	0	0	5.0
4	自主性をもって学習することができる内容 であった。	2 (100%)	0	0	0	0	5.0
5	授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	2 (100%)	0	0	0	0	5.0
6	授業内容は満足のできるものであった。	2 (100%)	0	0	0	0	5.0

Ⅱ. 授業方法について

		5	4	3	2	1	平均
7	教員の話す速度や声量は適切であった。	2 (100%)	0	0	0	0	5.0
8	り十万な又抜かめつに。	1 (50%)	1 (50%)	0	0	0	4.5
9	教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	2 (100%)	0	0	0	0	5.0
10	授業の環境(場所・設備など) は適切であった。	1 (50%)	1 (50%)	0	0	0	4.5
1 1	教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	2 (100%)	0	0	0	0	5.0
12	学生が授業に集中できるように教員は授業 の円滑な進行に配慮していた。	2 (100%)	0	0	0	0	5.0

Ⅲ. オンデマンド授業について

13 オンデマンド授業の時間が90分を超えた「頻度」を答えてください。

全くなかった 4名

14 問13で授業時間が90分を超えた「理由」を選んでください。 (複数回答可)

令和5年度第2学年前期「英語Ⅲ」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
82	6	7%

実施日: 最終授業日から3日間

Ⅰ. 授業内容について

		_	A	0	0	4	777.45n
		5	4	3	2	1	平均
1	シラバスに沿って、授業が進められた。	4 (67%)	1 (17%)	0	1 (17%)	0	4.3
2	授業内容は理解できるものであった。	2 (33%)	2 (33%)	0	2 (33%)	0	3.7
3	授業内容は興味や関心が持てるものであった。	2 (33%)	3 (50%)	0	1 (17%)	0	4.0
4	自主性をもって学習することができる内容 であった。	3 (50%)	3 (50%)	0	Ο	0	4.5
5	授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	3 (50%)	2 (33%)	Ο	1 (17%)	О	4.2
6	授業内容は満足のできるものであった。	3 (50%)	2 (33%)	0	0	1 (17%)	4.0

		5	4	3	2	1	平均
7	教員の話す速度や声量は適切であった。	2 (33%)	4 (67%)	0	Ο	0	4.3
8	専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	1 (17%)	2 (33%)	2 (33%)	1 (17%)	0	3.5
9	教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切で あった。	2 (33%)	2 (33%)	0	2 (33%)	0	3.7
10	授業の環境(場所・設備など) は適切であった。	4 (67%)	1 (17%)	0	1 (17%)	0	4.3
11	教員は質問の機会・方法を設定し質問に適 切に回答した。	2 (33%)	2 (33%)	1 (17%)	1 (17%)	0	3.8
12	学生が授業に集中できるように教員は授業 の円滑な進行に配慮していた。	2 (33%)	3 (50%)	0	1 (17%)	0	4.0

令和5年度第2学年前期「生化学」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
82	4	5%

実施日: 最終授業日から3日間

Ⅰ. 授業内容について

		5	4	3	2	1	平均
1	シラバスに沿って、授業が進められた。	3 (75%)	1 (25%)	Ο	0	0	4.8
	授業内容は理解できるものであった。	2 (50%)	2 (50%)	0	0	0	4.5
3	授業内容は興味や関心が持てるものであった。	2 (50%)	2 (50%)	0	0	0	4.5
4	自主性をもって学習することができる内容 であった。	2 (50%)	2 (50%)	0	0	0	4.5
5	授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	4 (100%)	0	0	0	0	5.0
6	授業内容は満足のできるものであった。	3 (75%)	1 (25%)	0	0	0	4.8

		5	4	3	2	1	平均
7	教員の話す速度や声量は適切であった。	3 (75%)	1 (25%)	Ο	Ο	Ο	4.8
8	専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	3 (75%)	1 (25%)	0	0	0	4.8
9	教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	2 (50%)	1 (25%)	1 (25%)	Ο	0	4.2
10	授業の環境(場所・設備など) は適切であった。	3 (75%)	1 (25%)	0	Ο	0	4.8
11	教員は質問の機会・方法を設定し質問に適 切に回答した。	2 (50%)	1 (25%)	1 (25%)	О	0	4.2
12	学生が授業に集中できるように教員は授業 の円滑な進行に配慮していた。	3 (75%)	1 (25%)	0	0	0	4.8

令和5年度第2学年前期「微生物学」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
86	6	7%

実施日: 最終授業日から3日間

Ⅰ. 授業内容について

		5	4	3	2	1	平均
1	シラバスに沿って、授業が進められた。	4 (67%)	2 (33%)	0	0	0	4.7
	授業内容は理解できるものであった。	4 (67%)	2 (33%)	0	0	0	4.7
3	授業内容は興味や関心が持てるものであった。	4 (67%)	1 (17%)	0	1 (17%)	0	4.3
4	自主性をもって学習することができる内容 であった。	3 (50%)	2 (33%)	0	1 (17%)	0	4.2
5	授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	4 (67%)	2 (33%)	0	0	0	4.7
6	授業内容は満足のできるものであった。	4 (67%)	2 (33%)	0	0	0	4.7

		5	4	3	2	1	平均
7	教員の話す速度や声量は適切であった。	4 (67%)	1 (17%)	1 (17%)	Ο	Ο	4.5
8	専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	3 (50%)	2 (33%)	1 (17%)	0	0	4.3
9	教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	3 (50%)	2 (33%)	1 (17%)	0	0	4.3
10	授業の環境(場所・設備など) は適切であった。	3 (50%)	3 (50%)	0	О	0	4.5
11	教員は質問の機会・方法を設定し質問に適 切に回答した。	3 (50%)	2 (33%)	1 (17%)	О	0	4.3
12	学生が授業に集中できるように教員は授業 の円滑な進行に配慮していた。	4 (67%)	2 (33%)	0	0	0	4.7

令和5年度第1学年前期「疾病と治療 I (成人・老人系概論)」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
83	8	10%

実施日: 最終授業日から3日間

Ⅰ. 授業内容について

		5	4	3	2	1	平均
1	シラバスに沿って、授業が進められた。	6 (75%)	2 (25%)	0	0	0	4.8
2	授業内容は理解できるものであった。	4 (50%)	4 (50%)	0	0	0	4.5
3	授業内容は興味や関心が持てるものであった。	5 (63%)	3 (38%)	0	0	0	4.6
4	自主性をもって学習することができる内容 であった。	4 (50%)	2 (25%)	2 (25%)	0	0	4.2
5	授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	4 (50%)	4 (50%)	0	0	0	4.5
6	授業内容は満足のできるものであった。	6 (75%)	2 (25%)	0	0	0	4.8

Ⅱ. 授業方法について

		5	4	3	2	1	平均
7	教員の話す速度や声量は適切であった。	6 (75%)	2 (25%)	0	0	0	4.8
8	専門的な知識や技術の修得のために教員か ら十分な支援があった。	5 (63%)	3 (38%)	0	0	0	4.6
9	教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	6 (75%)	2 (25%)	0	0	0	4.8
10	授業の環境(場所・設備など) は適切であった。	4 (50%)	4 (50%)	0	Ο	0	4.5
11	教員は質問の機会・方法を設定し質問に適 切に回答した。	4 (50%)	1 (13%)	3 (38%)	0	0	4.1
12	学生が授業に集中できるように教員は授業 の円滑な進行に配慮していた。	6 (75%)	1 (13%)	1 (13%)	0	0	4.6

Ⅲ. オンデマンド授業について

13 オンデマンド授業の時間が90分を超えた「頻度」を答えてください。

ほとんどなかった 4名

全くなかった 4名

14 問13で授業時間が90分を超えた「理由」を選んでください。 (複数回答可)

Ⅳ. ライブ型 (Zoom) 授業について

15 ライブ型(Zoom)授業の時間が90分を超えた「頻度」を答えてください。

全くなかった 8名

令和5年度第2学年前期「疾病と治療Ⅱ(成人・老年系各論)」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率					
83	7	8%					

実施日:最終授業日から3日間

Ⅰ. 授業内容について

		5	4	3	2	1	平均
1	シラバスに沿って、授業が進められた。	5 (71%)	2 (29%)	0	0	0	4.7
	授業内容は理解できるものであった。	3 (43%)	2 (29%)	2 (29%)	0	0	4.1
3	授業内容は興味や関心が持てるものであった。	3 (43%)	4 (57%)	0	0	0	4.4
4	自主性をもって学習することができる内容 であった。	4 (57%)	3 (43%)	0	0	0	4.6
5	授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	4 (57%)	2 (29%)	1 (14%)	0	0	4.4
6	授業内容は満足のできるものであった。	4 (57%)	2 (29%)	1 (14%)	0	0	4.4

Ⅱ. 授業方法について

		5	4	З	2	1	平均
7	教員の話す速度や声量は適切であった。	4 (57%)	1 (14%)	2 (29%)	0	0	4.3
8	専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	3 (43%)	2 (29%)	1 (14%)	1 (14%)	0	4.0
9	教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	4 (57%)	3 (43%)	0	0	0	4.6
10	授業の環境(場所・設備など) は適切であった。	5 (71%)	1 (14%)	0	1 (14%)	0	4.4
11	教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	4 (57%)	1 (14%)	1 (14%)	1 (14%)	0	4.1
12	学生が授業に集中できるように教員は授業 の円滑な進行に配慮していた。	4 (57%)	0	3 (43%)	0	0	4.1

Ⅲ. オンデマンド授業について

13 オンデマンド授業の時間が90分を超えた「頻度」を答えてください。

ときどきあった 6名

ほとんどなかった 1 名

14 問13で授業時間が90分を超えた「理由」を選んでください。 (複数回答可)

配信されたオンデマンド動画が90分を超えていた

7名

何度も聴き直す必要があった

1名

Ⅳ. ライブ型(Zoom)授業について

15 ライブ型(Zoom)授業の時間が90分を超えた「頻度」を答えてください。

全くなかった 7名

16 問15で授業時間が90分を超えた「理由」を選んでください。 (複数回答可)

令和5年度第2学年前期「臨床心理学」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
58	2	3%

実施日:最終授業日から3日間

Ⅰ.授業内容につい	17

		5	4	3	2	1	平均
1	シラバスに沿って、授業が進められた。	2 (100%)	0	0	0	0	5.0
	授業内容は理解できるものであった。	2 (100%)	0	0	0	0	5.0
3	授業内容は興味や関心が持てるものであった。	2 (100%)	0	0	0	0	5.0
4	自主性をもって学習することができる内容 であった。	2 (100%)	0	0	0	0	5.0
5	授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	2 (100%)	0	0	0	0	5.0
6	授業内容は満足のできるものであった。	2 (100%)	0	0	0	0	5.0

		5	4	3	2	1	平均
7	教員の話す速度や声量は適切であった。	2 (100%)	Ο	Ο	Ο	0	5.0
8	専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	2 (100%)	0	0	0	0	5.0
9	教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	2 (100%)	0	0	0	0	5.0
10	授業の環境(場所・設備など) は適切であった。	2 (100%)	0	0	0	0	5.0
11	教員は質問の機会・方法を設定し質問に適 切に回答した。	2 (100%)	0	0	0	0	5.0
12	学生が授業に集中できるように教員は授業 の円滑な進行に配慮していた。	2 (100%)	0	0	0	0	5.0

令和5年度第2学年前期「公衆衛生学」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
82	8	10%

実施日: 最終授業日から3日間

Ⅰ. 授業内容について

		5	4	3	2	1	平均
1	シラバスに沿って、授業が進められた。	8 (100%)	0	0	Ο	0	5.0
2	授業内容は理解できるものであった。	6 (75%)	1 (13%)	1 (13%)	0	0	4.6
3	授業内容は興味や関心が持てるものであった。	7 (88%)	1 (13%)	0	0	0	4.9
4	自主性をもって学習することができる内容 であった。	5 (63%)	2 (25%)	0	1 (13%)	0	4.4
5	授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	8 (100%)	0	0	0	0	5.0
6	授業内容は満足のできるものであった。	7 (88%)	1 (13%)	0	0	0	4.9

		5	4	3	2	1	平均
7	教員の話す速度や声量は適切であった。	7 (88%)	1 (13%)	Ο	Ο	0	4.9
8	専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	7 (88%)	1 (13%)	0	0	0	4.9
9	教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	5 (63%)	2 (25%)	0	1 (13%)	0	4.4
10	授業の環境(場所・設備など) は適切であった。	8 (100%)	0	0	0	0	5.0
11	教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	7 (88%)	0	0	1 (13%)	0	4.6
12	学生が授業に集中できるように教員は授業 の円滑な進行に配慮していた。	8 (100%)	0	0	0	0	5.0
			_	_	_	_	

令和5年度第2学年前期「地域・在宅看護論Ⅱ(療養生活の理解)」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
81	29	36%

実施日: 最終授業日から3日間

Ⅰ. 授業内容について

		5	4	3	2	1	平均
1	シラバスに沿って、授業が進められた。	23 (79%)	6 (21%)	0	0	0	4.8
	授業内容は理解できるものであった。	22 (76%)	7 (24%)	0	0	0	4.8
3	授業内容は興味や関心が持てるものであった。	21 (72%)	8 (28%)	0	0	0	4.7
4	自主性をもって学習することができる内容 であった。	17 (59%)	10 (34%)	2 (7%)	0	0	4.5
5	授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	22 (76%)	7 (24%)	0	0	0	4.8
6	授業内容は満足のできるものであった。	24 (83%)	5 (17%)	0	0	0	4.8

		5	4	3	2	1	平均
7	教員の話す速度や声量は適切であった。	22 (76%)	7 (24%)	Ο	Ο	Ο	4.8
8	専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	21 (72%)	7 (24%)	1 (3%)	0	0	4.7
	教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	22 (76%)	7 (24%)	О	0	0	4.8
	授業の環境(場所・設備など) は適切であった。	25 (86%)	4 (14%)	О	0	0	4.9
11	教員は質問の機会・方法を設定し質問に適 切に回答した。	22 (76%)	6 (21%)	1 (3%)	0	0	4.7
12	学生が授業に集中できるように教員は授業 の円滑な進行に配慮していた。	23 (79%)	6 (21%)	0	0	0	4.8

令和5年度第2学年前期「看護技術論Ⅲ(フィジカルアセスメント)」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
84	9	11%

実施日: 最終授業日から3日間

Ⅰ. 授業内容について

		5	4	3	2	1	平均
1	シラバスに沿って、授業が進められた。	8 (89%)	1 (11%)	0	Ο	0	4.9
	授業内容は理解できるものであった。	5 (56%)	4 (44%)	0	0	0	4.6
3	授業内容は興味や関心が持てるものであった。	7 (78%)	2 (22%)	0	0	0	4.8
4	自主性をもって学習することができる内容 であった。	7 (78%)	2 (22%)	0	Ο	0	4.8
5	授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	7 (78%)	2 (22%)	0	0	0	4.8
6	授業内容は満足のできるものであった。	7 (78%)	1 (11%)	1 (11%)	0	0	4.7

		5	4	3	2	1	平均
7	教員の話す速度や声量は適切であった。	5 (56%)	3 (33%)	Ο	1 (11%)	Ο	4.3
8	専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	8 (89%)	1 (11%)	0	0	0	4.9
9	教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	3 (33%)	6 (67%)	0	0	0	4.3
10	授業の環境(場所・設備など) は適切であった。	5 (56%)	4 (44%)	0	0	0	4.6
	教員は質問の機会・方法を設定し質問に適 切に回答した。	6 (67%)	1 (11%)	1 (11%)	1 (11%)	0	4.3
12	学生が授業に集中できるように教員は授業 の円滑な進行に配慮していた。	7 (78%)	1 (11%)	0	1 (11%)	0	4.6

令和5年度第2学年前期「在宅看護援助論 I (基礎)」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
81	6	7%

実施日: 最終授業日から3日間

Ⅰ. 授業内容について

		5	4	3	2	1	平均
1	シラバスに沿って、授業が進められた。	5 (83%)	1 (17%)	0	0	0	4.8
	授業内容は理解できるものであった。	3 (50%)	3 (50%)	0	0	0	4.5
3	授業内容は興味や関心が持てるものであった。	4 (67%)	2 (33%)	0	0	0	4.7
4	自主性をもって学習することができる内容 であった。	4 (67%)	1 (17%)	1 (17%)	0	0	4.5
5	授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	5 (83%)	1 (17%)	0	0	0	4.8
6	授業内容は満足のできるものであった。	4 (67%)	2 (33%)	0	0	0	4.7

		5	4	3	2	1	平均
7	教員の話す速度や声量は適切であった。	4 (67%)	2 (33%)	Ο	Ο	Ο	4.7
8	専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	5 (83%)	1 (17%)	0	0	0	4.8
9	教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切で あった。	5 (83%)	1 (17%)	0	0	0	4.8
10	授業の環境(場所・設備など) は適切であった。	4 (67%)	2 (33%)	Ο	0	0	4.7
11	教員は質問の機会・方法を設定し質問に適 切に回答した。	5 (83%)	1 (17%)	Ο	0	0	4.8
12	学生が授業に集中できるように教員は授業 の円滑な進行に配慮していた。	5 (83%)	1 (17%)	0	О	0	4.8
	ッパ 3/月 4 座 1 川 C 田 慮 ひ て V 1/C。						

令和5年度第2学年前期「社会学」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
81	62	77%

実施日:最終授業日から3日間

Ⅰ. 授業内容について

		5	4	3	2	1	平均
1	シラバスに沿って、授業が進められた。	17 (85%)	3 (15%)	0	0	0	4.8
	授業内容は理解できるものであった。	16 (80%)	4 (20%)	0	0	0	4.8
3	授業内容は興味や関心が持てるものであった。	13 (65%)	7 (35%)	0	0	0	4.7
4	自主性をもって学習することができる内容 であった。	12 (60%)	7 (35%)	1 (5%)	0	0	4.5
5	授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	16 (80%)	4 (20%)	0	0	0	4.8
6	授業内容は満足のできるものであった。	17 (85%)	3 (15%)	0	0	0	4.8

		5	4	3	2	1	平均
7	教員の話す速度や声量は適切であった。	17 (85%)	3 (15%)	Ο	Ο	Ο	4.8
8	専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	17 (85%)	3 (15%)	0	0	0	4.8
9	教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	17 (85%)	2 (10%)	1 (5%)	0	0	4.8
10	授業の環境(場所・設備など) は適切であった。	18 (90%)	2 (10%)	0	0	0	4.9
11	教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	16 (80%)	4 (20%)	0	0	0	4.8
12	学生が授業に集中できるように教員は授業 の円滑な進行に配慮していた。	18 (90%)	2 (10%)	0	О	0	4.9

令和5年度第2学年前期「災害看護論」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
82	4	5%

実施日:最終授業日から3日間

Ⅰ. 授業内容について

		5	4	3	2	1	平均
1	シラバスに沿って、授業が進められた。	4 (100%)	0	0	0	0	5.0
	授業内容は理解できるものであった。	3 (75%)	1 (25%)	0	0	0	4.8
3	授業内容は興味や関心が持てるものであった。	4 (100%)	0	0	0	0	5.0
4	自主性をもって学習することができる内容 であった。	4 (100%)	0	0	0	0	5.0
5	授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	4 (100%)	0	0	0	0	5.0
6	授業内容は満足のできるものであった。	4 (100%)	0	0	0	0	5.0

Ⅱ. 授業方法について

		15	4	თ	2	1	平均
7	教員の話す速度や声量は適切であった。	4 (100%)	0	0	0	0	5.0
8	専門的な知識や技術の修得のために教員か ら十分な支援があった。	3 (75%)	1 (25%)	0	0	0	4.8
9	教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	4 (100%)	0	0	0	0	5.0
10	授業の環境(場所・設備など) は適切であった。	4 (100%)	0	0	0	0	5.0
11	教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	4 (100%)	0	0	0	0	5.0
12	学生が授業に集中できるように教員は授業 の円滑な進行に配慮していた。	4 (100%)	0	0	0	0	5.0

Ⅲ. オンデマンド授業について

13 オンデマンド授業の時間が90分を超えた「頻度」を答えてください。

ときどきあった 1 名

ほとんどなかった 1 名

全くなかった 1 名

14 問13で授業時間が90分を超えた「理由」を選んでください。 (複数回答可)

配信されたオンデマンド動画が90分を超 1 名

えていた

通信が途切れた 1 名

Ⅳ. ライブ型 (Zoom) 授業について

15 ライブ型(Zoom)授業の時間が90分を超えた「頻度」を答えてください。

全くなかった 4 名

16 問15で授業時間が90分を超えた「理由」を選んでください。 (複数回答可)

令和5年度第2学年前期「看護システム論」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
82	38	46%

実施日:最終授業日から3日間

Ⅰ. 授業内容について

		_					
		5	4	3	2	1	平均
1	シラバスに沿って、授業が進められた。	34 (89%)	4 (11%)	Ο	Ο	0	4.9
	授業内容は理解できるものであった。	30 (79%)	8 (21%)	0	0	0	4.8
3	授業内容は興味や関心が持てるものであった。	33 (87%)	5 (13%)	0	Ο	0	4.9
4	自主性をもって学習することができる内容 であった。	27 (71%)	8 (21%)	3 (8%)	0	0	4.6
5	授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	30 (79%)	8 (21%)	0	0	0	4.8
6	授業内容は満足のできるものであった。	31 (82%)	7 (18%)	0	0	0	4.8

		5	4	3	2	1	平均
7	教員の話す速度や声量は適切であった。	35 (92%)	3 (8%)	Ο	Ο	Ο	4.9
8	専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	32 (84%)	6 (16%)	0	0	0	4.8
9	教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	30 (79%)	8 (21%)	0	0	0	4.8
10	授業の環境(場所・設備など) は適切であった。	32 (84%)	6 (16%)	0	0	0	4.8
11	教員は質問の機会・方法を設定し質問に適 切に回答した。	34 (89%)	4 (11%)	0	0	0	4.9
12	学生が授業に集中できるように教員は授業 の円滑な進行に配慮していた。	36 (95%)	2 (5%)	0	0	0	4.9

科目名	健康とスポー	建康とスポーツ								
回答者数	1	名								
履修者数	17	名	回答率	6%						

Ⅰ. 授業内容について

		5	4	3	2	1	平均
1	シラバスに沿って、授業が進められた。	1 (100%)	0	0	0	0	5.0
2	授業内容は理解できるものであった。	1 (100%)	0	0	0	0	5.0
3	授業内容は興味や関心が持てるものであった。	1 (100%)	0	0	0	0	5.0
4	自主性をもって学習することができる 内容であった。	1 (100%)	0	0	0	0	5.0
5	授業の構成や内容は科目の到達目標を 達成できるものであった。	1 (100%)	0	0	0	0	5.0
6	授業内容は満足のできるものであった。	1 (100%)	0	0	0	0	5.0

		5	4	З	2	1	平均
7	教員の話す速度や声量は適切であっ た。	1 (100%)	0	0	0	0	5.0
8	専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	1 (100%)	0	0	0	0	5.0
9	教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	1 (100%)	0	0	0	0	5.0
10	授業の環境(場所・設備など) は適切であった。	1 (100%)	0	0	0	0	5.0
1 1	教員は質問の機会・方法を設定し質問 に適切に回答した。	1 (100%)	0	0	0	0	5.0
12	学生が授業に集中できるように教員は 授業の円滑な進行に配慮していた。	1 (100%)	0	0	0	0	5.0

科目名	免疫学			
回答者数	4	名		
履修者数	83	名	回答率	5%

Ⅰ. 授業内容について

		5	4	3	2	1	平均
1	シラバスに沿って、授業が進められた。	3 (75%)	1 (25%)	0	0	0	4.8
2	授業内容は理解できるものであった。	3 (75%)	1 (25%)	0	0	0	4.8
3	授業内容は興味や関心が持てるものであった。	3 (75%)	0	1 (25%)	0	0	4.5
4	自主性をもって学習することができる 内容であった。	3 (75%)	0	1 (25%)	0	0	4.5
5	授業の構成や内容は科目の到達目標を 達成できるものであった。	3 (75%)	1 (25%)	0	0	0	4.8
6	授業内容は満足のできるものであった。	3 (75%)	1 (25%)	0	0	0	4.8

Ⅱ. 授業方法について

		5	4	3	2	1	平均
7	教員の話す速度や声量は適切であっ た。	3 (75%)	0	1 (25%)	0	0	4.5
8	専門的な知識や技術の修得のために教 員から十分な支援があった。	3 (75%)	0	1 (25%)	0	0	4.5
9	教科書や資料、視聴覚教材の使用が適 切であった。	3 (75%)	1 (25%)	0	0	0	4.8
10	授業の環境(場所・設備など) は適切であった。	3 (75%)	1 (25%)	0	0	0	4.8
11	教員は質問の機会・方法を設定し質問 に適切に回答した。	3 (75%)	1 (25%)	0	0	0	4.8
12	学生が授業に集中できるように教員は 授業の円滑な進行に配慮していた。	3 (75%)	1 (25%)	Ο	0	0	4.8

Ⅲ. オンデマンド授業について

13 オンデマンド授業の時間が90分を超えた「頻度」を答えてください。

全くなかった 2名

14 問13で授業時間が90分を超えた「理由」を選んでください。 (複数回答可)

Ⅳ. ライブ型(Zoom)授業について

15 ライブ型(Zoom)授業の時間が90分を超えた「頻度」を答えてください。

全くなかった 4名

5. そう思う 4. だいたいそう思う 3. どちらともいえない 2. あまり思わない 1. 全く思わない 1 名 回答者数 履修者数 84 名

科目名 薬理学 1% 回答率

Ⅰ. 授業内容について

		5	4	3	2	1	平均
1	シラバスに沿って、授業が進められた。	1 (100%)	0	0	0	0	5.0
2	授業内容は理解できるものであった。	1 (100%)	0	0	0	0	5.0
3	授業内容は興味や関心が持てるものであった。	1 (100%)	0	0	0	0	5.0
4	自主性をもって学習することができる 内容であった。	1 (100%)	0	0	0	0	5.0
5	授業の構成や内容は科目の到達目標を 達成できるものであった。	1 (100%)	0	0	0	0	5.0
6	授業内容は満足のできるものであっ た。	1 (100%)	0	0	0	0	5.0

		5	4	3	2	1	平均
7	教員の話す速度や声量は適切であっ た。	1 (100%)	0	0	0	0	5.0
8	専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	1 (100%)	0	0	0	0	5.0
9	教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	1 (100%)	0	0	0	0	5.0
10	授業の環境(場所・設備など) は適切であった。	1 (100%)	0	0	0	0	5.0
1 1	教員は質問の機会・方法を設定し質問 に適切に回答した。	1 (100%)	0	0	0	0	5.0
12	学生が授業に集中できるように教員は 授業の円滑な進行に配慮していた。	1 (100%)	0	0	0	0	5.0

科目名	疾病と治療]	病と治療Ⅲ(周産期と婦人科系)						
回答者数	3	名						
履修者数	82	名	回答率	4%				

Ⅰ. 授業内容について

		5	4	3	2	1	平均
1	シラバスに沿って、授業が進められた。	2 (67%)	1 (33%)	0	0	0	4.7
2	授業内容は理解できるものであった。	2 (67%)	1 (33%)	0	0	0	4.7
3	授業内容は興味や関心が持てるものであった。	3 (100%)	0	0	0	0	5.0
4	自主性をもって学習することができる 内容であった。	2 (67%)	1 (33%)	0	0	0	4.7
5	授業の構成や内容は科目の到達目標を 達成できるものであった。	2 (67%)	1 (33%)	0	0	0	4.7
6	授業内容は満足のできるものであっ た。	3 (100%)	0	0	0	0	5.0

Ⅱ. 授業方法について

		5	4	3	2	1	平均
7	教員の話す速度や声量は適切であった。	2 (67%)	0	1 (33%)	0	0	4.3
8	専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	2 (67%)	1 (33%)	0	0	0	4.7
9	教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	2 (67%)	1 (33%)	0	0	0	4.7
10	授業の環境(場所・設備など) は適切であった。	2 (67%)	1 (33%)	0	0	0	4.7
11	教員は質問の機会・方法を設定し質問 に適切に回答した。	2 (67%)	1 (33%)	0	0	0	4.7
12	学生が授業に集中できるように教員は 授業の円滑な進行に配慮していた。	2 (67%)	1 (33%)	0	0	0	4.7

Ⅲ. オンデマンド授業について 13 ~ 14 回答なし

Ⅳ. ライブ型(Zoom) 授業について

15 ライブ型(Zoom)授業の時間が90分を超えた「頻度」を答えてください。

全くなかった 3名

5. そう思う 4. だいたいそう思う 3. どちらともいえない 2. あまり思わない

1. 全く思わない

科目名	名 疾病と治療Ⅳ(こども)					
回答者数	2	名				
履修者数	82	名	回答率	2%		

Ⅰ. 授業内容について

		5	4	3	2	1	平均
1	シラバスに沿って、授業が進められた。	1 (50%)	1 (50%)	0	0	0	4.5
2	授業内容は理解できるものであった。	1 (50%)	0	0	1 (50%)	0	3.5
3	授業内容は興味や関心が持てるものであった。	1 (50%)	0	1 (50%)	0	0	4.0
4	自主性をもって学習することができる 内容であった。	1 (50%)	0	0	1 (50%)	0	3.5
5	授業の構成や内容は科目の到達目標を 達成できるものであった。	1 (50%)	1 (50%)	0	0	0	4.5
6	授業内容は満足のできるものであった。	1 (50%)	0	1 (50%)	0	0	4.0

Ⅱ. 授業方法について

		5	4	3	2	1	平均
7	教員の話す速度や声量は適切であっ た。	1 (50%)	0	0	1 (50%)	0	3.5
8	専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	2 (100%)	0	0	0	0	5.0
9	教科書や資料、視聴覚教材の使用が適 切であった。	1 (50%)	1 (50%)	0	0	0	4.5
10	授業の環境(場所・設備など) は適切であった。	1 (50%)	1 (50%)	0	0	0	4.5
11	教員は質問の機会・方法を設定し質問 に適切に回答した。	1 (50%)	0	1 (50%)	0	0	4.0
12	学生が授業に集中できるように教員は 授業の円滑な進行に配慮していた。	1 (50%)	1 (50%)	0	0	0	4.5

Ⅲ. オンデマンド授業について

13 オンデマンド授業の時間が90分を超えた「頻度」を答えてください。

全くなかった 1 名

14 問13で授業時間が90分を超えた「理由」を選んでください。(複数回答可)

なし

Ⅳ. ライブ型 (Zoom) 授業について

15 ライブ型(Zoom)授業の時間が90分を超えた「頻度」を答えてください。

全くなかった 2名

科目名	疫学			
回答者数	1	名		
履修者数	83	名	回答率	1%

Ⅰ. 授業内容について

		5	4	3	2	1	平均
1	シラバスに沿って、授業が進められた。	1 (100%)	0	0	0	0	5.0
2	授業内容は理解できるものであった。	1 (100%)	0	0	0	0	5.0
3	授業内容は興味や関心が持てるものであった。	1 (100%)	0	0	0	0	5.0
4	自主性をもって学習することができる 内容であった。	1 (100%)	0	0	0	0	5.0
5	授業の構成や内容は科目の到達目標を 達成できるものであった。	1 (100%)	0	0	0	0	5.0
6	授業内容は満足のできるものであった。	1 (100%)	0	0	0	0	5.0

Ⅱ. 授業方法について

		5	4	3	2	1	平均
7	教員の話す速度や声量は適切であっ た。	1 (100%)	0	0	0	0	5.0
8	専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	1 (100%)	0	0	0	0	5.0
9	教科書や資料、視聴覚教材の使用が適 切であった。	1 (100%)	0	0	0	0	5.0
10	授業の環境(場所・設備など) は適切であった。	1 (100%)	0	0	0	0	5.0
11	教員は質問の機会・方法を設定し質問 に適切に回答した。	1 (100%)	0	0	0	0	5.0
12	学生が授業に集中できるように教員は 授業の円滑な進行に配慮していた。	1 (100%)	0	0	0	0	5.0

Ⅲ. オンデマンド授業について 13 ~ 14 回答なし

Ⅳ. ライブ型 (Zoom) 授業について

15 ライブ型(Zoom)授業の時間が90分を超えた「頻度」を答えてください。

全くなかった 1名

科目名

回答率 1%

Ⅰ. 授業内容について

		5	4	3	2	1	平均
1	シラバスに沿って、授業が進められた。	0	1 (100%)	0	0	0	4.0
2	授業内容は理解できるものであった。	Ο	1 (100%)	0	0	0	4.0
3	授業内容は興味や関心が持てるものであった。	0	1 (100%)	0	0	0	4.0
4	自主性をもって学習することができる 内容であった。	0	1 (100%)	0	0	0	4.0
5	授業の構成や内容は科目の到達目標を 達成できるものであった。	0	1 (100%)	0	0	0	4.0
6	授業内容は満足のできるものであった。	0	1 (100%)	0	0	0	4.0

精神保健論

		5	4	3	2	1	平均
7	教員の話す速度や声量は適切であった。	0	1 (100%)	0	0	0	4.0
8	専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	0	1 (100%)	0	0	0	4.0
9	教科書や資料、視聴覚教材の使用が適 切であった。	0	1 (100%)	0	0	0	4.0
10	授業の環境(場所・設備など) は適切であった。	0	1 (100%)	0	0	0	4.0
11	教員は質問の機会・方法を設定し質問 に適切に回答した。	0	1 (100%)	0	0	0	4.0
12	学生が授業に集中できるように教員は 授業の円滑な進行に配慮していた。	0	1 (100%)	0	0	0	4.0

科目名	チーム医療	淪		
回答者数	2	名		
履修者数	71	名	回答率	3%

Ⅰ. 授業内容について

		5	4	3	2	1	平均
1	シラバスに沿って、授業が進められた。	2 (100%)	0	0	0	0	5.0
2	授業内容は理解できるものであった。	2 (100%)	0	0	0	0	5.0
3	授業内容は興味や関心が持てるものであった。	2 (100%)	0	0	0	0	5.0
4	自主性をもって学習することができる 内容であった。	2 (100%)	0	0	0	0	5.0
5	授業の構成や内容は科目の到達目標を 達成できるものであった。	1 (50%)	1 (50%)	0	0	0	4.5
6	授業内容は満足のできるものであっ た。	1 (50%)	1 (50%)	0	0	0	4.5

		5	4	3	2	1	平均
7	教員の話す速度や声量は適切であっ た。	1 (50%)	1 (50%)	0	0	0	4.5
8	専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	1 (50%)	1 (50%)	0	0	0	4.5
9	教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	1 (50%)	1 (50%)	0	0	0	4.5
10	授業の環境(場所・設備など) は適切であった。	1 (50%)	1 (50%)	0	0	0	4.5
11	教員は質問の機会・方法を設定し質問 に適切に回答した。	1 (50%)	1 (50%)	0	0	0	4.5
12	学生が授業に集中できるように教員は 授業の円滑な進行に配慮していた。	1 (50%)	1 (50%)	0	0	0	4.5

科目名	看護技術論]	Ⅵ(診療の補	助技術)		
回答者数	13	名			
履修者数	85	名		回答率	15%

Ⅰ. 授業内容について

		5	4	3	2	1	平均
1	シラバスに沿って、授業が進められた。	10 (77%)	3 (23%)	0	0	0	4.8
2	授業内容は理解できるものであった。	8 (62%)	4 (31%)	1 (8%)	0	0	4.5
3	授業内容は興味や関心が持てるものであった。	9 (69%)	4 (31%)	0	0	0	4.7
4	自主性をもって学習することができる 内容であった。	9 (69%)	4 (31%)	0	0	0	4.7
5	授業の構成や内容は科目の到達目標を 達成できるものであった。	9 (69%)	4 (31%)	0	0	0	4.7
6	授業内容は満足のできるものであった。	9 (69%)	2 (15%)	2 (15%)	0	0	4.5

		5	4	3	2	1	平均
7	教員の話す速度や声量は適切であっ た。	6 (46%)	6 (46%)	1 (8%)	0	0	4.4
8	専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	7 (54%)	4 (31%)	2 (15%)	0	0	4.4
9	教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	9 (69%)	4 (31%)	0	0	0	4.7
10	授業の環境(場所・設備など) は適切であった。	10 (77%)	3 (23%)	0	0	0	4.8
11	教員は質問の機会・方法を設定し質問 に適切に回答した。	8 (62%)	5 (38%)	0	0	0	4.6
12	学生が授業に集中できるように教員は 授業の円滑な進行に配慮していた。	8 (62%)	4 (31%)	1 (8%)	0	0	4.5

科目名	看護過程とほ	看護過程とEBN					
回答者数	2	名					
履修者数	85	名		回答率	2%		

Ⅰ. 授業内容について

		5	4	3	2	1	平均
1	シラバスに沿って、授業が進められ た。	2 (100%)	0	0	0	0	5.0
2	授業内容は理解できるものであった。	2 (100%)	0	0	0	0	5.0
3	授業内容は興味や関心が持てるものであった。	2 (100%)	0	0	0	0	5.0
4	自主性をもって学習することができる 内容であった。	2 (100%)	0	0	0	0	5.0
5	授業の構成や内容は科目の到達目標を 達成できるものであった。	2 (100%)	0	0	0	0	5.0
6	授業内容は満足のできるものであった。	2 (100%)	0	0	0	0	5.0

		5	4	3	2	1	平均
7	教員の話す速度や声量は適切であっ た。	2 (100%)	0	0	0	0	5.0
8	専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	2 (100%)	0	0	0	0	5.0
9	教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	2 (100%)	0	0	0	0	5.0
10	授業の環境(場所・設備など) は適切であった。	2 (100%)	0	0	0	0	5.0
1 1	教員は質問の機会・方法を設定し質問 に適切に回答した。	2 (100%)	0	0	0	0	5.0
12	学生が授業に集中できるように教員は 授業の円滑な進行に配慮していた。	2 (100%)	0	0	0	0	5.0

科目名	災害看護援	災害看護援助論					
回答者数	3	名					
履修者数	65	名	-	回答率	5%		

Ⅰ. 授業内容について

		5	4	3	2	1	平均
1	シラバスに沿って、授業が進められた。	3 (100%)	0	0	0	0	5.0
2	授業内容は理解できるものであった。	3 (100%)	0	0	0	0	5.0
3	授業内容は興味や関心が持てるものであった。	3 (100%)	0	0	0	0	5.0
4	自主性をもって学習することができる 内容であった。	3 (100%)	0	0	0	0	5.0
5	授業の構成や内容は科目の到達目標を 達成できるものであった。	3 (100%)	0	0	0	0	5.0
6	授業内容は満足のできるものであっ た。	3 (100%)	0	0	0	0	5.0

		5	4	3	2	1	平均
7	教員の話す速度や声量は適切であっ た。	3 (100%)	0	0	0	0	5.0
8	専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	3 (100%)	0	0	0	0	5.0
9	教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	3 (100%)	0	0	0	0	5.0
10	授業の環境(場所・設備など) は適切であった。	3 (100%)	0	0	0	0	5.0
11	教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	3 (100%)	0	0	0	0	5.0
12	学生が授業に集中できるように教員は 授業の円滑な進行に配慮していた。	3 (100%)	0	0	0	0	5.0

科目名	キャリアデ)		
回答者数	11	名		
履修者数	82	名	回答率	13%

Ⅰ. 学生自身の授業への取り組みについて

		5	4	3	2	1	平均
1	シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	10 (91%)	1 (9%)	0	0	0	4.9
2	シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	6 (55%)	3 (27%)	1 (9%)	1 (9%)	Ο	4.3
3	授業内容は興味や関心が持てるものであった。	7 (64%)	3 (27%)	0	0	1 (9%)	4.4

Ⅱ. 授業内容について

		5	4	3	2	1	平均
4	シラバスに沿って、授業が進められ た。	9 (82%)	2 (18%)	0	0	0	4.8
5	授業の内容は分かりやすかった。	9 (82%)	1 (9%)	1 (9%)	0	0	4.7
6	授業内容はレベルが適当であった。	10 (91%)	1 (9%)	0	0	0	4.9
7	授業内容に興味が持てた。	9 (82%)	2 (18%)	0	0	0	4.8
8	知的好奇心が刺激された。	9 (82%)	1 (9%)	1 (9%)	0	0	4.7
9	自分で考えたり学んだりする機会に なった。	10 (91%)	1 (9%)	0	0	0	4.9

Ⅲ. 教員の授業に対する姿勢および授業方法について

		5	4	3	2	1	平均
10	教員の話す速度や声量は適切であっ た。	8 (73%)	3 (27%)	0	0	0	4.7
11	専門的な知識や技術の修得のために教 員から十分な支援があった。	8 (73%)	2 (18%)	1 (9%)	0	0	4.6
12	教科者、多ち者、フリフトなどの配加 資料の使い方及び内容が適切であっ た	8 (73%)	3 (27%)	0	0	0	4.7
13	教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	8 (73%)	3 (27%)	0	0	0	4.7
14	オンデマンド動画、ライブ型(Zoom) 授業および資料などの使い方・内容が 適切であった。	8 (73%)	2 (18%)	1 (9%)	0	0	4.6
15 任意	授業において、スライド、ホワイト ボードやDVDなどの視聴覚装置の使 い方及び内容が適切であった。	9 (90%)	0	1 (10%)	0	0	4.8
16 任意	授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	9 (90%)	0	1 (10%)	0	0	4.8

Ⅳ. 授業時間について

17 オンデマンド授業の時間が90分を超えた「頻度」を答えてください。

ほとんどなかった 1名

全くなかった 10名

18 問17で授業時間が90分を超えた「理由」を選んでください。(複数回答可)

19 面授業で、授業開始・終了時間を守られていた。

いつもあった 4名

ときどきあった 1名